

# 大型捕獲罾のWeb監視・操作システム(まる三重ホカクン)の開発 ～三重県農業研究所・鳥羽商船高専・地元企業との共同開発～

## 開発の背景

シカやイノシシを集団捕獲する罾が普及

- ・シカやイノシシの高密度地域では、ドロップネットや大型の罾などで集中的な捕獲を行う必要性が高まっている

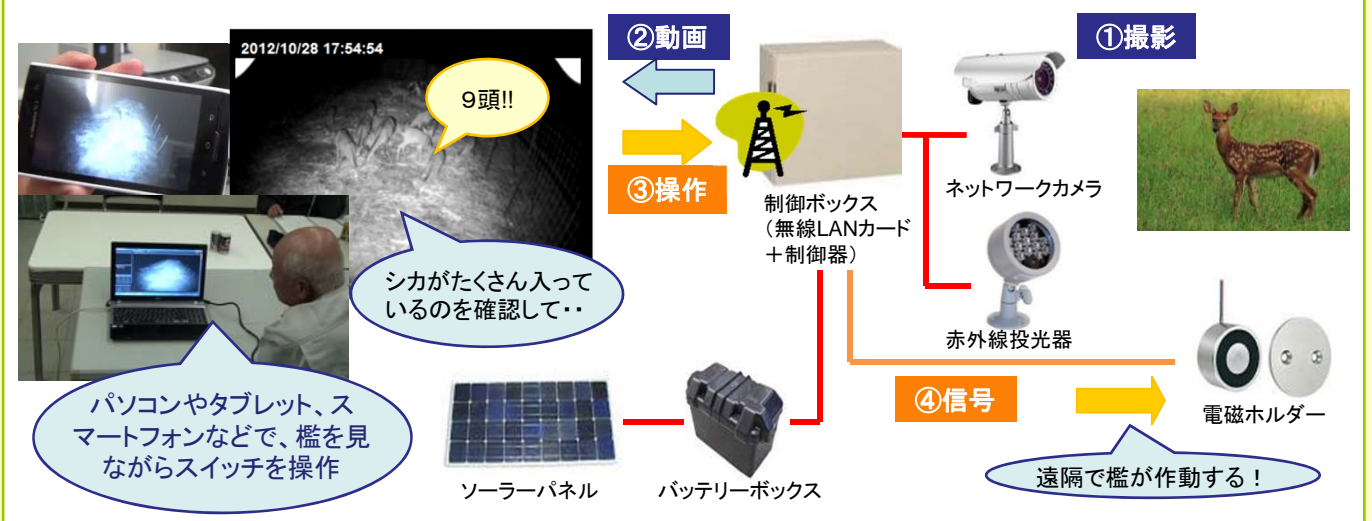
しかし…

確実に複数頭のシカやイノシシを捕獲するためには、常時檻の近くで監視が必要であり、捕獲者の負担が大きい。



## そこで…

Web上で檻や罾を遠隔監視・操作できるシステムを開発!



## 成果の特徴や注意点

- ・システム開発は鳥羽商船高専と(株)アイエスイーとの共同で実施した。
- ・シカやイノシシの檻・罾だけでなく、サルの大型箱罾など、種々の大型罾の監視と操作が可能である。
- ・檻の操作に当たっては、狩猟免許(檻罾)の所持が必要となる。
- ・(株)アイエスイー(0596-36-3805)にて販売中であり、他県も合わせて既に13基が導入済みである。
- ・ドロップネットでの捕獲は1ヶ所の累計で最大16頭、罾では最大15頭である。(2013.2月現在)

